

閑上地区まちづくり協議会 世話役会(155) 議事録

| | |
|--------|--|
| 日 時 | 平成 30 年 12 月 4 日 (火) 18:30~20:45 |
| 場 所 | 名取市復興区画整理課会議室 (仙台法務局名取出張所 2 階) |
| 出席者 | 世話役 : (代表) 針生勉 (副代表) 阿部ひで、今野義正、(世話役) 宇佐美久夫、千葉洋子、南部比呂志、出雲隆 (事務局) コンサルタント 2 名 |
| オブザーバー | 市職員 震災復興部 3 名 仙台高専 坂口先生、学生 3 名 尚綱学院大学 2 名 東北大学 1 名 |
| 議 題 | 0. 事前確認 1. 情報共有 2. プレゼン大会のフィードバック 3. 今後の進め方 4. その他 |
| 資 料 | 資料-0 次第、第 154 回世話役会議事録案 資料-1 プレゼン大会参加御礼資料、第 3 回まちびらき実行委員会資料一式、 資料-2 今後の進め方、スケジュール 資料-3 ニュースレター第 38 号案 資料-4 横断幕デザイン案 資料-5 県道塩釜亘理線と閑上港線の交差点の切替、閑上西地区交流会お知らせ |

○ 協議要旨

0. 事前確認について

<議事録確認>

- ・第 154 回世話役会議事録は、一部修正して確定することとした。

1. 情報共有

<名取市からの情報提供>

- ・地区内の交差点改良や市有地の分譲状況、交流会の開催について話があった。

<前回からの動き>

- ・市民懇談会、ゆりフェス、視察受入れなどについて報告があった。

<今後の動き>

- ・クリスマス会の開催や最後の復興公営住宅のカギ引き渡し式などの開催があるという話があった。

2. プレゼン大会のフィードバック

- ・プレゼンターへのお礼状をお返しして、プレゼン大会のイベントは完了することとした。
- ・今後は、まちびらき実行委員会でのイベントごとの検討課題の解決、具体的な役割や進め方などを個

別に検討する必要があるとなった。

- ・ニュースレターは一部修正して、今週発行することとなった。

3. 今後の進め方

- ・2019年4月21日に閑上中央集会所で2018年度活動報告を中心とした定期総会を開催することを決定し、それに向けて方向性など検討項目を煮詰めていくこととした。
- ・公園の名称、中央緑道に関する提案など、検討課題を確認した。
- ・中央緑道と沿道の施設との連携性を高めるべく、地区住民の意向把握を実施し、住民意向として代診していくことが重要という話があった。

4. その他

- ・被災者支援団体連絡会や事業者との懇談会が開催されたという報告があった。
- ・横断幕は、仙台高専でもデザイン案を作成することとなった。

<次回世話役会>

- ・次回世話役会は12月11日(火)とする。

次回予定:世話役会(156)12/11(火)18:30～ 名取市震災復興部会議室

以下、世話役会の主な意見について記載する。

0. 事前確認

資料-0 第154回世話役会議事録案

<議事録の確認>

- ・第154回世話役会議事録は、一部修正して、確定した。

1. 情報共有

<名取市からの情報提供>

○交差点改良について

→復興区画整理課工事班より県道塩釜亘理線と閑上港線の交差点の改良計画を説明、閑上港線西行きの右折レーン設置による改良を行い、12月25日から運用開始となる。渋滞解消に効果が期待できると考えている。閑上港線の完全整備は3月25日を予定しており、既報どおり12月11日に日和橋が開通となる。(市)

- ・学校への交差点改良の周知は？具体的には歩道はどうなるのか？

→歩道については、本歩道が開通する。(市)

・県道側の自転車道の停止線は設置しないのか？走行速度によっては、歩行者と危険な錯綜が起きる不安要素がある。

→自転車通行帯の路面標示ができるし、青い線で通行帯の表示が12月末までに設置予定である。自転車が完全分離となる構造となり、目印にもなる。(市)

・県道側の自転車道と横断歩道の部分で危険性はないのか？

→自転車への横断歩行者ありなどの注意喚起に向けた看板等の設置などを対応検討していく。(市)

○市有地の分譲について

→8か所の市有地の売却に15人が応募し、抽選となった。購入者に若い世帯が多い。(市)

・もともと閑上在住の方か？

→仙台が多い。ゆかりはあるかもしれないが、まちづくりの方向性は理解されている。(市)

○スポーツエリアについて

→スポーツエリアの説明は、来週の予定です。(市)

○交流会について

→西地区の交流会の開催について、子供のイベントと大人のイベントを開催する予定で、このコラボは交流会としては珍しい。最後の復興公営住宅の完成で、内覧会もあったが、全体で463戸の整備となった。鍵の引き渡しは12月8日で完成式典も文化会館小ホールで行う。(市)

・完成式典には、代表が参加する。

・463戸のうち、今回最後の整備で何戸が完成したのか？

→105戸+16戸=121戸である。五月雨で入居していくものと予想している。(市)

・一般募集しているが、空き住戸はあるのか？

→集合住宅は105戸のうち65戸が入居済み、戸建住宅は16戸のうち14戸入居済みである。キャンセルもあるかもしれないので変動する。(市)

<前回からの動き>

○市民懇談会

・市民懇談会に参加したが、20年後の名取の姿を議論するということで市として重要な施策となっている。参加者は自薦他薦で参加している。地域の区長や町会の代表、いろんな団体の人が参加して、ワークショップ形式で議論している。12月21日13:30に次回が開催される予定であり、世話役は基盤づくりをテーマにした部門に参加しているが、テーマ以外の意見についても話はしている。

・スポーツエリアの意見を言いたかったが、子育て環境に魅力あるまちづくりを進めるべきとの意見を言っている。次世代の担いで創生に向けて、その環境づくりが必要との話を今後ともしていく。

○ゆりフェス

→ゆりフェスは世話役も参加してもらった。生徒、教員、校長などが参加して、楽しく実施できた。学校の模型を授業にも使ってもらおうとか、フィールド作業に生かしていければと思う。これを契機に学校と地域連携できればと思う。(仙台高専)

・模型をうまく作って話ができればと思う。よい取り組みだったと思う。来年は町会とも一緒にできればと思う。

・模型はどこに？

→研究室にある。寄贈できればと思う。家具なども再現していく。(仙台高専)

・楽しかったので、またやってほしい。

・スケールアップできればもっと良い。模型は素晴らしい

・継続できればいいと思う。

→校長もいい感触なので（仙台高専）

- ・テラリウムはもっとおおきなものができると？

→できる。（仙台高専）

- ・人形が欲しかった。動物はあったが、人間がなかった。残念
- ・模型は構造が分割できるのがよかった。
- ・お披露目する場も必要かもしれない。

○視察受入れについて

→9名が来訪、1時間現地視察、意見交換、かわまちテラスに感動していた。ゆとりある空間、堤防と一体性など、うらやましがられていた。気仙沼の堤防問題とのからみもあり、相当感銘していた。今後、定住が進んでいく際に、コミュニティづくりへの期待感が大きい。事業者が中心であり、まちを復興していくにはどうすればいいのか悩みながら進んでいるところでもある。アドバイスもした。情報交換を継続することとした。（事務局）

・閑上の場合は、行政や学識、専門家など一体となって話が進められていっているが、気仙沼はそうっていないらしい。意見が言えるだけだそうだ。行政とのつながりを持ちながら、同時並行的な話をしていくのがいいのではないかと思うと意見を述べた。環境がにている中で、閑上よりやや遅れている感があるようなので、こちらからも見に行くところでもあるかなと感じた。

・閑上が遅れていると思ったが、気仙沼はまだだと聞いて驚いている。うらやましがられるところが、若い人が参加しているといいのではないかと思う。

- ・鹿折に見に行ったが、南気仙沼は魚市場にちかい、水産加工などが盛んな地域で、閑上と似ている。
- ・同じ地域からの復興ということで、他地域とコラボしながら、施設が活性化、復興が継続していくことが望ましい。

・三時間以上の視察で精力的だった。仙台高専の卒業生もいた。活発な意見交換だった。

→立正佼成会の助成金の報告会がある予定で、一堂にあえる会であるが、平日昼間だと聞いている。日程が見えたら世話役会で調整させてもらおう。（市）

<今後の動き>

- ・次回の世話役会の日程を調整する必要がある。
- ・12月22日に中央地区のクリスマス会がある。
- ・12月8日に公営住宅入居者も参加する。
- ・新しい人だけの紹介だけでなく、何回も参加している人も名札をつけるのは必要かも。以前から参加している人も紹介が必要だとおもう。

→11月22日中央集会所で夜会を開催した。今まで昼間の交流会に来れなかった人、初めて参加した人、町内会づくりへの協力的な方もいた。会議への参加数も増加している。人材の発掘が進んでいると感じる。（市）

2. プレゼン大会のフィードバック

→会議録を説明

→次回のまちびらき実行委員会では、検討課題をひも解くことを目的としている。協議会にはアイディ

ア出しをお願いしたい。

- ・スタンプラリーについて、提案団体と一緒に、コーディネートしていければいい。
- ・シャトルバスの運行は？
- ・市庁舎、名取駅などから周遊する脚として確保するとともに、循環バスなどの運行もお願いしたい。
- ・まちびらきへの参加要望がある。
- ・各箇所相互の連携について検討が必要
- ・閑上に行く機会が少なくなって、再開の機会として、まちびらきを考える人もいる。

→役割として、式典より、おもてなし側でまち協は期待されている。(市)

- ・世話役が実行委員でもあるので、役割を完全に分担できないと思う。
- ・大学とタイアップするなどしないと、できないだろう。
- ・次回の委員会では？

→企画ひとつずつ、具体的な対応方向を整理していきたい。具体的な問題をどのように整理していくのが検討目的となる。

→今の段階で決められることは決めて、検討する必要があるものと仕訳したい。(市)

- ・決められることを決めて、進むしかない。

→お願いするところはお願いする。(市)

・開催趣旨を逸脱しないように進めていただくことを前提としたい。消費のみではだめで、感謝や未来、交流を目的とした流れを進めてほしい、誰かがそれをコントロールしないといけない。

・工事の進捗状況がカギだろう。緑道の開通がない中で、まちびらきのタイミングとしていいのかどうか疑問だ。

・行政としては、確実にできないことは言えないのだろう。緑道がひよっとしたらできているかもしれない。

・1mでも長く整備してほしいので、委員会に工事担当も参加させてほしい。アンダーパスまではぜひとも整備してほしい。

- ・できないということは、実行委員会で聞いた。
- ・東側はできてほしい。できないとまちびらきイベントそのものが時期尚早といわざるを得ない。
- ・まちびらきについて、工事を急いでもらって、イベントができるのかどうか？
- ・開催日は決まっているのではないか？緑道を使わないとしたらどうか？
- ・企画が連動しないといけない。
- ・まちびらきをずらすことは？

→できない。最善は尽くす(市)

- ・基盤となる公共施設について出来ているのが前提だろう。
- ・中央緑道の存在がポイントとなる。

→努力はする。(市)

- ・緑道は具体的にいつ完成するのか？完成するときまちびらきということもあり得るのか？

→緑道整備も含めて、どうなるのか伝えるような機会や方法が必要だとは思っている。(市)

・制約条件の中で、まち協のプレゼン大会を通じて、イベント内容を提案して、意見を出していく必要があるだろう。

→フィードバック資料説明、参加者へのご案内が必要だろうということで資料作成した。(事務局)

- ・裏面はコメンテーターで変わるということ？

→そうだ。この御礼状を送ったうえで、プレゼン大会は終了ということになる。

<ニュースレター>

- ・特別功勞の意味を記載すべき
- ・年表の部分が過去と現在将来が分かりにくい。
- ・背景色との関係だろう。
- ・現在以前とそれ以降で色を統一すればいい
- ・いつだすのか？

→今週中だ (事務局)

- ・8日に鍵引き渡し式があるので、年表の「現在」の位置が違うことになる。

→現在の位置は見直す。

- ・発行は12月となる。

3. 今後の進め方

→総会のタイミングは4月中かと思う。中央緑道について第2弾の提案があるのか？活動の節目について意見交換できるのか？協議事項としてある。ただし専決事項で6月まで伸ばすかどうかだ。(事務局)

- ・節目をいつとするか、総会で決めるべきだろう。総会をまちびらき前にやるのは難しいのでは？
- ・地域のコミュニケーション強化という意味でまちびらきなので、総会を6月に行うということもありえるのではないか？

・総会内容を検討することはできるとは思うが、スケジュールをとって確保できるか？まちびらきで役割が出ると総会を同時に検討できるかどうか問題となる。

→まちびらきを部会として検討するという方法もある。(事務局)

- ・終わった後の総会だと、まちびらき以降の話がむずかしいのではないか
- ・6月だと今更という感じもある。

→4月中に2018年度の活動報告を中心とした定期総会を開催し、まちびらき以降に2019年度の活動方針を含めたまち協の今後について、臨時総会で話を整理することも会えり得るのではないか？(事務局)

- ・2019年度以降は切り口をどうするか、大きな課題だ。
- ・閑上現地で活動することにより、再開の場で、交流の機会を大いに増やして、閑上の将来を検討する機会がより期待できる。
- ・総会の開催場所だが、文化会館の予約状況次第だが、現地に近い場所として、中央集会所もありえる。どうせなら、最初から中央集会所で開催するのはどうか？
- ・声かけできるし、現地で開催できるなら、活用すべきだろう。
- ・なにか決めるべきことあるか？
- ・公園の名前、中央緑道第2弾の提案なども検討課題としてある。

→提案として整理すべきなのかどうか？(事務局)

- ・公園の名称の市案を検討するとしてきたが、いつまでに検討すればいいのか？

→年内までが予定だったが、無理そうなので、なるべく早くとしか言えない。(市)

・公園の名称については、総会より前に出す必要があるので、総会での取り扱いには留意が必要。

→保育所が緑道に対して背を向けているが、加えて、商業施設と緑道との関係性も不安である。来年の夏オープンなら早めに施行者に提案するべきだろう。医療施設へも、緑道への配慮という話もできると思う。(仙台商専)

→保育所の園庭も南向きなので、緑道との接点が保育所にはあまりないのが気になる。(仙台商専)

→緑道という軸としての役割を設計に反映してもらうとのお話を、住民側からの要望として伝えることはあるかもしれない。(事務局)

・動きがない場合はまち協が意見を伝える機会も必要だろう。

→施設としての関係機関協議は始まっていると思う。(市)

・商業施設へのアクセスとして公営住宅のF棟から直接行けるルートもあるべきだろうとの話もある。

→緑道の沿道の話になるので、緑道そのものの話ではないが、住民の声を聴く機会も必要だろう。(事務局)

・現地で感じている人の意見を聞くべきだろう。

・広い人の意見を聞くべきだろうということはある。もうすこし検討するべきだろう。

・検討しすぎると時間がたって決まってしまう恐れもある。

・住民意見の聴取も必要だ。

・町内会ベースで集めて、まち協に集約し、その意見をまち協を通じて市に示すということになるだろう。

・元の閑上の住民や学区全体の住民に聞くべきだろう。

・地元で人が集まってきているので、より多くの住民からの意見を吸い上げる方法を検討すべきだろう。

→仙台商専が意向把握を手伝うこともできる。(仙台商専)

・2019年4月21日に定期総会の開催予定とし、スピード感を持って対応する。

4. その他

○被災者支援連絡会について

・情報交換会でもらった資料を回覧する。仙台市立病院の元事務局長の講演もあった。

・ボランティアで現在も取り組んでいる人たちの活動の案内があった。

・特に、名取市の高齢者率は21.8%で閑上は倍と聞いている。一人暮らしをどのように支えるのか、声かけがいいとしているが、地域みんなが支えていくことが必要。住民の参加が重要であることを再認識している。

・行政区、町会、隣近所が協力する必要がある。

・モデル事業として集合住宅の活用なども、地域で行えるふれあいをサポートする仕組みを考えるべきだろう。

・行政がやるべきでは？

・民間がやれることも限界があるが、行政とタイアップしながら進めるのだろう。

・高齢化率が高いが、名取だけでない。

→町内会設立の次の段階が大きな課題。出会う場がない。掃除の機会などを踏まえ、声かけなどの自主

的な活動を支えることで進めているが、うまくいっている例も多い。毎日やる人、隣近所が行うことがより一層うまくいくと考えられ、ボランティアとしての係りを作る雰囲気が必要だろう。

○事業者との懇談会

・11月22日にマリンメカ、舟運事業者、かわまちテラス事業者、水辺リング事務局、閑上太鼓、トレイルセンター関係者で顔合せ会を実施した。連携を模索している。

・次はいつ？

→未定だが、まちびらきでジェットスキーの模擬レースとかの実施に向けて、市の復興調整課も入っているの、より良い意見交換でできると思う。

・同じ方向を向いているので、イベントもできると思う。各事業者の分野では行政への提言もできると思う。

・協力してくれる人も多い。

○横断幕について

・3枚目で「ひまわり」よりは、カーネーション、水辺感、協議会の名称の位置を再検討すべき。

・法面で、移動可能な規模がいいのではないかと思う。

→CGなどの合成写真で見え方を検討すべき

・仙台高専の中でも検討してみる。(仙台高専)

○その他

・年明けには新年会を開催したい。

・水辺リングで1月1日初日の出イベントを実施予定で、12日協議予定である。

<次回世話役会>

・次回世話役会は12月11日(火)とする。

次回予定:世話役会(156)12/11(火)18:30～ 名取市震災復興部会議室 以上